

業績ハイライト

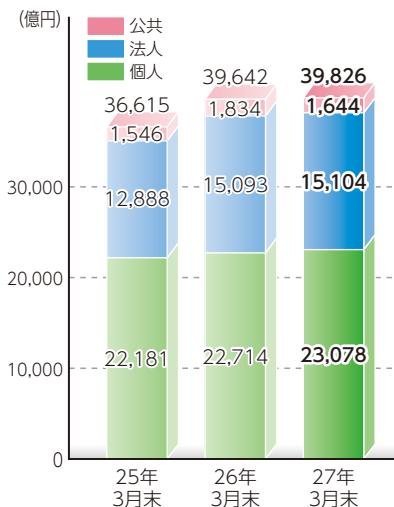
総預金・貸出金等の残高推移

総預金

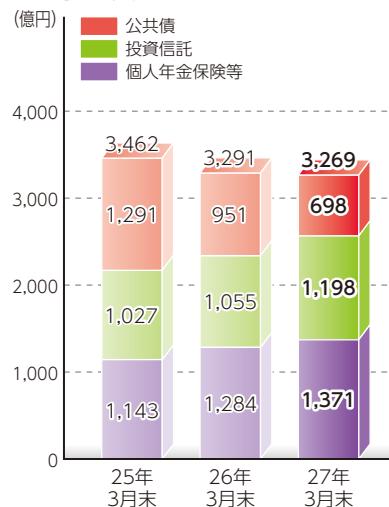
公共預金が減少しましたが、個人及び法人預金の増加により、当期末の総預金残高は、前期末比184億9百万円増加して3兆9,826億97百万円となりました。

また、お客さまの資金運用ニーズの多様化にお応えするため、個人年金保険、公共債及び投資信託などの預金以外の運用性商品の品揃え充実につとめ、投資信託及び個人年金保険が増加しましたが、公共債の減少により、当期末の預り資産残高は、前期末比22億55百万円減少し、3,269億28百万円となりました。

総預金 (預金+譲渡性預金)



預り資産

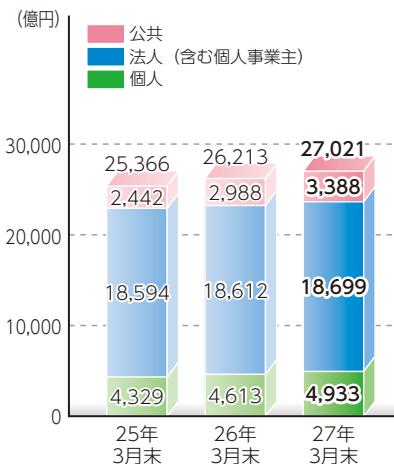


貸出金

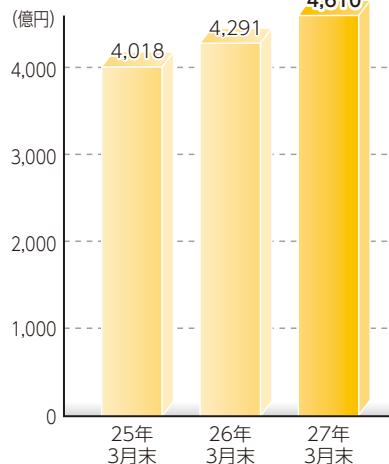
個人向け、法人向け及び公共向け貸出金がいずれも増加したことにより、当期末の貸出金残高は、前期末比807億30百万円増加して2兆7,021億25百万円となりました。

また、住宅ローンを積極的に取り組んでまいりました結果、当期末の住宅ローン残高は、前期末比319億7百万円増加し、4,610億89百万円となりました。

貸出金



住宅ローン



業績の推移

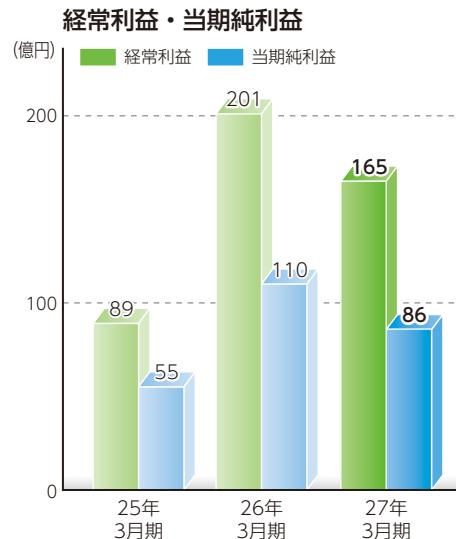
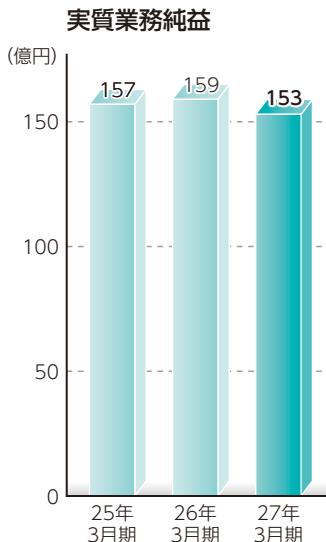
実質業務純益は、債券関係損益の減少などにより、前期比5億62百万円減少して153億42百万円となりました。

経常利益は、与信関係費用の増加や、有価証券関係損益の減少などにより、前期比35億77百万円減少して165億99百万円となりました。

また、当期純利益は、前期比24億91百万円減少して86億6百万円となりました。

*実質業務純益とは

実質業務純益 = 業務粗利益(資金利益 + 受取手数料 + 債券関係損益など) - 経費



香川県内シェア

(平成27年3月31日現在)

